#### 小平・村山・大和衛生組合議会報告

組合議会の定例会は年に2回(2月、11月)開催され、臨時会は必要に応じて開催されます。昨年11月に開催された定例会において、 令和2年度小平・村山・大和衛生組合一般会計歳入歳出決算が認定されるとともに、令和3年度小平・村山・大和衛生組合一般会計補正予算(第 1号)について原案のとおり可決されました。

#### 令和3年11月定例会 (令和3年11月18日(木) 開催)

議案番号	内容	議決結果
議案第8号	令和2年度小平・村山・大和衛生組合一般会計歳入歳出決算の認 定について	認定
議案第9号	令和3年度小平・村山・大和衛生組合一般会計補正予算(第1号)	原案可決

#### 令和2年度一般会計決算額と主な工事

#### 決算額

歳 入	2,660,533,730円
歳出	2,536,893,001円
差引残額	123,640,729円

(令和2年度の主な工事)

- ・新ごみ処理施設建設工事
- ・5号炉バグフィルターろ布取替等補修工事
- ・4号炉バグフィルター底部ケーシング等補修工事
- ・4・5号ごみ焼却施設燃焼上段ストーカフレーム等

# 情報公開の状況

衛生組合では、情報公開制度により、衛生組合 が保有している文書等の情報を公開しています。 公開の状況は下表のとおりです。

甘口日日 ・	令和3年1	F10-4	今知った	12月21日
- 別目・	コープリンサー	$H \cap C$	口们し井	- I Z 円 フ I C

請求件数	1件
公 開	1件
一部公開	0件
撤回	0件
非公開	0件(うち不存在 0件)
公開率*	100%

※公開率=(公開+一部公開)÷(請求件数-撤回-不存在)×100

# ●令和2年度はごみ搬入量が増えました!●

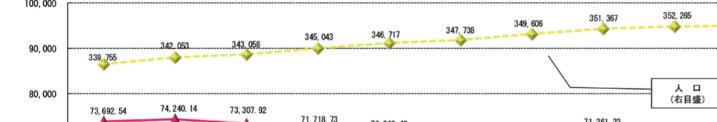


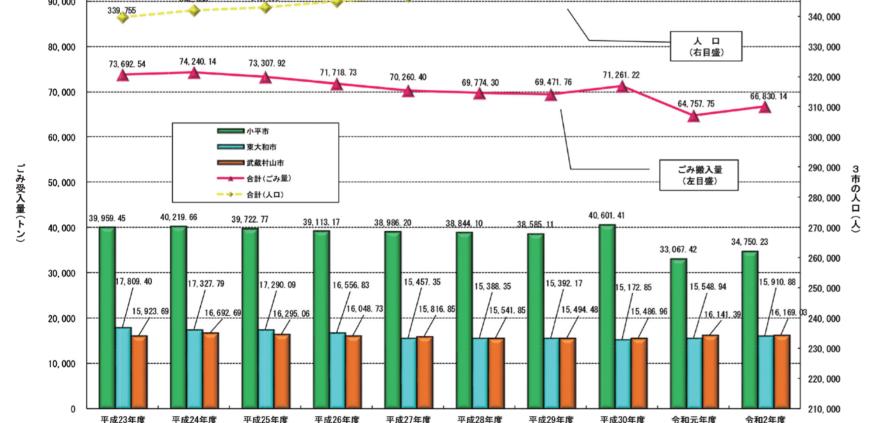
一方、衛生組合に運ばれてくるごみは、平成23年度から平成29年度までは減少傾向にありましたが、平成30年度は前年度と 比べて2.6%増加し、令和元年度は減少したものの、令和2年度に再び3.2%の増加に転じました。

原因の一つに新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴い、外出を制限され自宅で過ごす時間が増えたことにより、家庭ごみが増加 したものと考えられます。

ごみを減らすことは、ごみ処理に要する費用を削減することができるとともに、ごみを焼却した際に発生する二酸化炭素の排出量 が減り、地球温暖化の防止につながります。一人ひとりの心がけを大切にごみ減量をお願いいたします。

3市の人口と市別ごみ搬入量の推移





#### 小平・村山・大和衛生組合(発行年月:令和4年3月)

〒187-0033 東京都小平市中島町2番1号

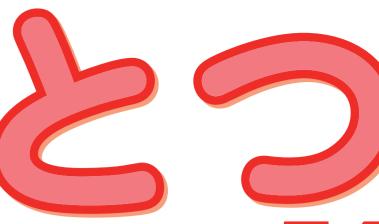
TEL: 042-341-4345 FAX: 042-343-5374 HP http://www.kmy-eiseikumiai.jp/

小平・村山・大和衛生組合



小平・村山・大和衛生組合広報紙





#### 《主な内容》

- **・ごみは正しく出しましょう** ・新しいごみ焼却施設の整備工事
- ・測定結果(ダイオキシン類、放射性物質) ・議会報告
- ・情報公開の状況 ・ごみの搬入量実績

小平・村山・大和衛生組合は、小平市、東大和 市及び武蔵村山市の3市によって組織され た一部事務組合で、3市の家庭などから出る ごみと資源物(ペットボトル・容器包装プラ スチック)の処理を行っています。



# 🎾 ルールを守ったごみ出しをお願いいたします

皆さんの家庭などから出され、ごみ収集車で収集した可燃ごみは、衛生組合に運ばれてきます。ごみは焼却することで、臭いの発生などを防 ぐことができ、私たちの生活環境を衛生的に保つことができます。また、焼却した後の灰を日の出町にあるエコセメント化施設に運び、エコセ メントの原料として再利用されています。

#### 可燃ごみの受入れ



ごみ収集車によって運ばれてき た可燃ごみは、ごみ焼却施設の ピットで受入れ、安定して燃え るように撹拌(かくはん)し、ご みの質を均一化した上で、順次 焼却します。

#### 焼却炉内の様子



ごみ焼却炉の内部は、階段状の 床が動く仕組みになっています。 ごみはこの動きに沿って、燃え ながらゆっくりと進み、灰にな ります。焼却は24時間連続で 行っています。

## 『から取り除いた不適物(金属類)



灰から選別し、取り除いている 金属類は、一日当たり約700 kg、年間256tにもなります。

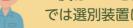
施設を停止せざるを得なくなることがあります。

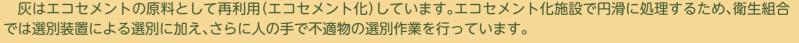
#### 灰に含まれている代表的な金属類



- ●スプーン ●チェーン
- ●かなづち

などが焼却した灰の中に含ま れていました。





可燃ごみの中には、空き缶やスプーンなどの金属類(不適物)が混入していることがあり、機械につまり、ひどいときには、

#### 選別装置の稼働の様子



別装置に投入し、ふるいや磁力 選別機によって鉄類を選別しま

## 手選別の様子



磁石につかない金属などがある ため、作業員が手で取り除いて

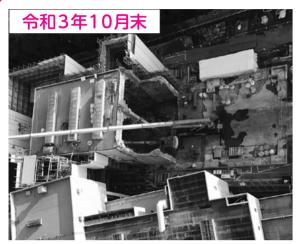


不適物の混入は、設備や装置の故障の原因となり、取り除くために多くの労力を要します。 お住いの市の分別基準を確認し、正しいごみ出しにご協力をお願いいたします。

衛生組合では、近隣の他の市町村等のごみ焼却施設に可燃ごみの一部の処理をお願いしながら、 令和7年10月からの稼働に向けて、新しいごみ焼却施設の整備を進めています。

工事期間中は何かとご迷惑をおかけいたしますが、ご理解・ご協力くださいますようお願いい たします。

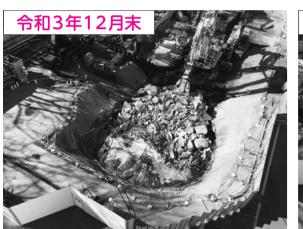
# 1 工事状況写真(3号ごみ焼却施設の解体工事)

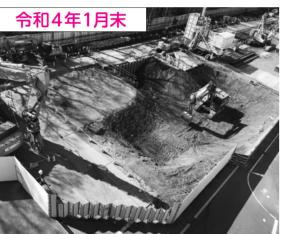






解体現場北側からの状況





煙突の地下部分の解体状況



解体現場東側からの状況

# 2 スケジュール

		令和2年度 2020年度	令和3年度 2021年度	令和4年度 2022年度	令和5年度 2023年度	令和6年度 2024年度	令和7年度 2025年度	令和8年度 2026年度	令和9年度 2027年度
	粗大ごみ処理施設	解体工事							
工事	3号ごみ焼却施設		解体工事						
事予定	4・5 号ごみ焼却施設							解体工事	
	新しいごみ焼却施設				設工事(工場棟)	)		建設	江事(管理棟)
施設	3号ごみ焼却施設								
施設の稼働予定	4・5 号ごみ焼却施設								
学定	新しいごみ焼却施設						試運転	本稼働	
	可燃ごみ処理の広域支援			令和3年4	月~令和7年9	9月			

# 3 衛生組合へのごみの直接持ち込みはできません

新しいごみ焼却施設の整備工事により、工事関係車両の通行が頻繁にあることから、安全確保のため、令和3年4月1日から衛生組合への市民の方のごみの直接持ち込みを中止しています。

ご理解、ご協力をお願いいたします。

## 4 土壌の除去について

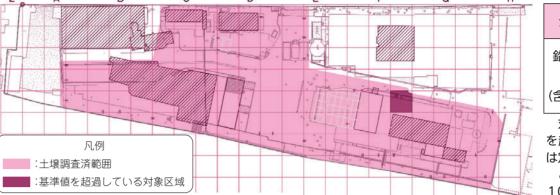
工事に関する土壌調査において、鉛及びその化合物の土壌含有量の基準値を超過している区域があったことから、詳細調査により深さの範囲を特定し、「土壌汚染対策法」及び「東京都の都民の健康と安全を確保する環境に関する条例」に基づく手続きを進めるとともに、令和4年1月6日に基準値を超過している区域の土壌を除去し、専門業者により外部処理しました。

#### (1) 土壌調査範囲と土壌含有量の基準値超過が確認された区域

#### (2) 詳細調査の結果

(単位:mg/kg)

(3)



分析項目	基準値	深さ50cm	深さ100cm	深さ200cm
鉛及びその 化合物 (含有量試験)	150以下	280	定量 下限値 未満	定量 下限値 未満

対象区域の土壌について、地上から深さ50cmまでは基準値を超過していましたが、地上から深さ100cm及び200cmでは定量下限値未満(測定できる最小値よりも小さい値)でした。

このため、令和4年1月6日に対象区域の土壌を地上から深さ 100cmまでを除去し、専門業者により外部処理しました。

# ダイオキシン類の測定結果

衛生組合では、立川市清掃工場と連携して、清掃工場周辺の大気中のダイオキシン類濃度の測定を実施しています。 毎年夏季と冬季の年2回実施しており、令和3年度夏季分は令和3年8月18日から令和3年8月25日の間、連続で試料を採取し、 測定しました。

(単位:pg-TEQ/m²)

測定地点		大気環境基準	測定結果			
/5	,		令和3年度(夏季分)	【参考】令和2年度(夏季分)		
	東大和市立第二小学校		0.0130	0.0290		
衛生組合測定	小平市立上水新町地域センター		0.0094	0.0180		
	小平市立中島地域センター		0.0130	0.0240		
	旧 若 葉 小 学 校	0.6以下	0.0120	0.0470		
立川市清掃工場測定	立川市立第八小学校		0.0130	0.0330		
	立川市立立川第四中学校		0.0140	0.0400		
	立 川 市 若 葉 児 童 館		0.0120	0.0320		

<sup>※</sup>大気環境基準は、ダイオキシン類対策特別措置法に基づく、大気の汚染に係る環境基準です。

#### 焼却灰等の放射性物質濃度及び空間放射線量の測定結果

衛生組合では、「主灰(焼却炉でごみを焼却したときに発生する燃えがら)、飛灰(焼却炉の集じん器(バグフィルタ)で捕集したばいじん)、排ガス(ごみを焼却した際に煙突から出るガス)」の放射性物質濃度と敷地境界東西南北4ヵ所及びこもれびの足湯における空間放射線量の測定を定期的に実施しています。

#### ●放射性物質濃度測定結果

(単位 主灰・飛灰:Bq/kg、排ガス:Bq/m²)

採取日	主灰		飛	灰	排ガス	
	基準値	測定結果	基準値	測定結果	基準値	測定結果
令和3年9月15日	8,000以下	25		61		不検出
令和3年10月15日		不検出		46		不検出
令和3年11月15日		15	8,000以下	58	3 か月の平均濃度が 1 を超えないこと	不検出
令和 3 年12月15日		不検出		66	1 2/2/2012	不検出
令和 4 年 1 月14日		13		32		不検出

<sup>※</sup>主灰・飛灰の数値は、「放射性セシウム134」「放射性セシウム137」の合計値です。排ガスは、「放射性セシウム134」「放射性セシウム137」いずれも不検出です。

#### ●空間放射線量測定結果

(単位:μSv/h

拉加口	基準値	敷地境界				こもれびの足湯
採取日		東	西	南	北	(バックグランド*)
令和3年9月15日		0.046	0.070	0.056	0.069	0.039
令和3年10月15日		0.048	0.070	0.049	0.071	0.030
令和3年11月15日	0.230未満	0.047	0.066	0.054	0.067	0.033
令和3年12月15日		0.049	0.065	0.061	0.074	0.036
令和 4 年 1 月14日		0.055	0.082	0.051	0.085	0.031

- ※1 地上高さ1m、5回測定の平均値です。
- ※2 バックグランドは、保管されているごみの敷地境界以外で、十分に離れた地点での状況を把握するために実施しています。

各測定結果は、衛生組合ホームページでもご覧いただけます。